



野球場約5つの広々とした公園

共済部長を務める中本哲也さん。「昭和30年代中ごろまでは、30戸ほどの小規模農家の集落でした。しかし、宅地化が進み、それまでの田や畑にはアパートが立ち並ぶなど、以前とは様相が一変しましたね」と話す。

中本さんは自衛官として、北海道、東京などを転々とした後、退職をきっかけに就農。残された農地を荒らさず、次の世代に繋いでいこう」という強い思いがあった。現在は妻と2人、手の届く範囲で、季節野菜や柿、ウメ、ブルーベリーなどを中心に栽培している。「規模は小さいですが、離れて暮らす孫たちに、「地

全国でも最大級の古墳群です。古墳の数は500基あると言われ、現在までに200基が確認されています。特徴として、①方形周溝墓、②方墳、③円墳、④前方後円墳などがあります。古墳群の変わっていく様子を、同一台地で見られます。

